

専 門 教 養
令和元年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
特別支援学校 <b>小学部</b>

## 注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 問題の音読等、他の受験者の迷惑になるような行為、携帯電話の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、25ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に**必要事項の記入やマークがない場合や誤っている場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** 1 ~ 9、**特別支援教育の専門に関する問題** I ~ IV の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年又は平成30年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

## ==== 解答上の注意 =====

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。問題には、選択肢から選び解答する場合や、数字又は符号（-）を入れて問題文を完成させて解答する場合などがあり、解答方法が複数ある場合とどれか一つのみの場合とがあります。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答番号	解答欄
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。

3 問題文中の 、 などの  には、数字又は符号（-）が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) 、、、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号（-）のいずれか一つに対応します。それらを 、、、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="2"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="3"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="4"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に 、 などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、、 のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\text{56}}{\text{7}}$  に  $-\frac{4}{5}$  と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$  として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="5"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
<input type="text" value="6"/>	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="7"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

4 「ただし、選んだ数字の小さい順にマークすること。解答番号は 、、。」と表示のある問に対して、2と5と8と解答する場合には、次の(例4)のように「②、⑤、⑧」の順にマークします。

このとき、「②、⑤、⑧」以外の「⑤、②、⑧」や「⑧、②、⑤」などの順にマークした場合には、不正解となります。

(例4)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="11"/>	① ● ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="12"/>	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
<input type="text" value="13"/>	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖

「\*」のついた部分は、掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

## 教科等に関する問題

1 次の各問に答えよ。

問 1 次の文章を読んで、後の(1)、(2)の各問に答えよ。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(山極寿一「ゴリラからの警告『人間社会、ここがおかしら』」による)

(1) 傍線部①「**\***」について説明したものとして最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は 。

- 1** 自分よりも劣位のサルに出会ったとき、争いを起こさなかったことに対する応答として見せるサルの表情と、とつ組み合っただけで遊んでいる中でグゴグゴとくぐもった笑い声をあげた際に見せる興奮したサルの表情。
- 2** 自分の敵わないサルに出会ったとき、自分が劣っていて敵対する気がないことを知らせ、相手から攻められないようにするために見せる笑いのようなサルの表情と、とつ組み合っただけで遊んでいるときに現れる楽しくて感情の高ぶったサルの表情。
- 3** 自分よりも劣位のサルに出会ったとき、食物や休み場、交尾相手などをめぐるとラブルに負けないために見せる笑いのようなサルの表情と、とつ組み合っただけで遊んでいるときに現れるはつきりと笑いとわかるサルの表情。
- 4** 自分の敵わないサルに出会ったとき、自分の方が弱くて敵意をもっていないことを知らせ、相手から攻撃されないようにするために見せる笑いのようなサルの表情と、とつ組み合っただけで相手を本気でかむ際に見せるサルの表情。

(2) 傍線部②「**\***」

「とあるが、筆者がこのように述べた理由として最も適切なものは、次の**1**～**4**のうちではどれか。解答番号は 。

- 1** 多くの人を和やかにさせ、結びつけたり、敵対する心を弱めたりできる人間の笑いには、社会的コミュニケーションの肝要な手段だから。
- 2** 人間の笑いには、周囲の仲間をいっしょに笑わせるような影響力はないが、相手を引きこみ遊びを長引かせる力はあるから。
- 3** パソコンに向かい、ペットたちとだけ会話するストレスのない毎日を送ることで、現代の人々は笑うことの多い暮らしを営んでいるから。
- 4** 人から離れて暮らしていると、顔の表情が乏しくなっていくように、顔の表情は知人と顔を合わせることによってしかつけれないから。

〔問 2〕 次の漢文を読んで、後の(1)、(2)の各問に答えよ。なお、設問の都合により、送り仮名を付したり、省略したりしたところがある。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(「新釈漢文大系 論語」から作成)

(1) 傍線部①「 \* 」について、書き下し文として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 一言にして以て終身之を行ふべき者有りやと。
- 2 一言にして以て之を終身行ふべき者有らんかなと。
- 3 一言にして以て終身行ひ之くべき者有るかと。
- 4 一言にして以て終身之く者有りて行ふべきかと。

(2) 傍線部②「 \* 」とあるが、「\*」が述べた「\*」の内容として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 自分がやりたいと感じたことは失敗を恐れず積極的に取り組むこと。
- 2 自分が欲をもたずに節制のある生活を送り続けていくこと。
- 3 自分がしてほしくないと思うことを人にしないこと。
- 4 自分が行きたくないところに、あえて行くこと。

**2** 次の各問に答えよ。

[問 1] 次の表は、2000年と2017年の我が国の輸入相手国（地域を含む）のうち、輸入額上位10位についてまとめたものである。表中の**ア**～**ウ**の国や地域の名称として適切なものは、下の**1**～**8**のうちのどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号は**ア**が **5**、**イ**が **6**、**ウ**が **7**。

(単位：億円)

順位	2000年		2017年	
	国や地域の名称	輸入額	国や地域の名称	輸入額
1	<b>ア</b>	77,789	<b>イ</b>	184,593
2	<b>イ</b>	59,414	<b>ア</b>	80,903
3	韓国	22,047	<b>ウ</b>	43,650
4	台湾	19,302	韓国	31,527
5	インドネシア	17,662	サウジアラビア	31,150
6	アラブ首長国連邦	15,996	台湾	28,478
7	<b>ウ</b>	15,959	ドイツ	26,272
8	マレーシア	15,627	タイ	25,502
9	サウジアラビア	15,313	アラブ首長国連邦	23,288
10	ドイツ	13,719	インドネシア	22,307

(財務省「輸入相手国上位10カ国の推移（年ベース）」から作成)

- 1 オーストラリア
- 2 カナダ
- 3 シンガポール
- 4 中国
- 5 ブラジル
- 6 フランス
- 7 米国
- 8 ロシア

[問 2] 次の江戸時代の幕府によって行われた政治の改革に関する記述ア～ウを、年代の古い順に並べたものとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は  。

**ア** 収入面では、定免法の採用による幕府直轄領の年貢増徴と新田開発の推進による収入増加をねらった。また、相对済し令や公事方御定書を編纂するなど、法制の整備を進めた。

**イ** 物価高騰を抑えるために、物価引下令を発するとともに、株仲間の解散を命じた。また、農村の復興のため、人返しの法を発令して、出稼ぎ人の帰郷策を奨励した。

**ウ** 旗本・御家人の窮乏を救うために、棄捐令を出し、札差への債務を破棄させた。また、諸藩に対し、飢饉対策のため、各地に社倉や義倉を設けさせて米穀の備蓄を命じた。

1 ア → イ → ウ

2 ア → ウ → イ

3 イ → ア → ウ

4 イ → ウ → ア

5 ウ → ア → イ

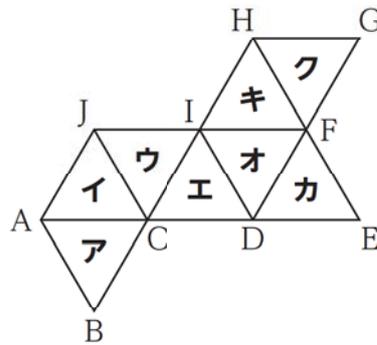
6 ウ → イ → ア

3 次の各問に答えよ。

[問 1]  $11 < \sqrt{12n} < 13$  を満たす自然数  $n$  の個数を次のように求める。

$11 < \sqrt{12n} < 13$  より、 $\boxed{9}\boxed{10}\boxed{11} < 12n < \boxed{12}\boxed{13}\boxed{14}$  である。したがって、求める自然数  $n$  の個数は  $\boxed{15}$  である。

[問 2] 次の正八面体の展開図を組み立てたとき、下の(1)~(3)の各問に答えよ。



(1) 点Aと重なる点として適切なものは、次の1~9のうちのどれか、二つ選び答えよ。  
 解答番号は  $\boxed{16}$ 、 $\boxed{17}$ 。

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | B | 2 | C | 3 | D | 4 | E | 5 | F |
| 6 | G | 7 | H | 8 | I | 9 | J |   |   |

(2) 辺ABと平行な辺として適切なものは、次の1~0のうちのどれか。解答番号は  $\boxed{18}$ 。

- |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | BC | 2 | CD | 3 | CI | 4 | CJ | 5 | DF |
| 6 | DI | 7 | FG | 8 | FH | 9 | FI | 0 | HI |

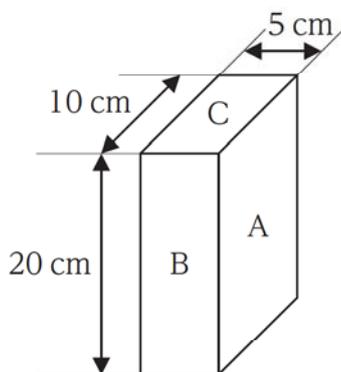
(3) 面アと平行な面として適切なものは、次の1~7のうちのどれか。解答番号は  $\boxed{19}$ 。

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | 2 | ウ | 3 | エ | 4 | オ | 5 | カ |
| 6 | キ | 7 | ク |   |   |   |   |   |   |

4 次の各問に答えよ。

[問 1] 次の図と同じ形状の3種類の直方体ア～ウがあり、それぞれの質量は、アが4000 g、イが2000 g、ウが1000 gである。下の表に示すように、直方体アは面Aを下に、直方体イは面Bを下に、直方体ウは面Cを下にそれぞれ机の上に置いたとき、直方体が机に及ぼす圧力の大きさの関係を表したものとして適切なものは、下の1～9のうちどれか。解答番号は  。

図



表

直方体	机に接する面
ア	面A
イ	面B
ウ	面C

- 1 ア<イ<ウ
- 2 ア=イ=ウ
- 3 ア<ウ<イ
- 4 イ<ア<ウ
- 5 イ<ウ<ア
- 6 イ=ウ<ア
- 7 ウ<ア<イ
- 8 ウ<ア=イ
- 9 ウ<イ<ア

[問 2] 次の記述ア～ウは、理科の実験で行う操作の一部である。ア～ウで発生する気体として最も適切なものは、下の 1～6 のうちではどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 。

ア 石灰石にうすい塩酸を加える。

イ 亜鉛にうすい塩酸を加える。

ウ 二酸化マンガンをうすい過酸化水素水を加える。

- 1 窒素
- 2 水素
- 3 酸素
- 4 塩素
- 5 アンモニア
- 6 二酸化炭素

5 次の問に答えよ。

[問] 次の楽譜は、小学校学習指導要領音楽の共通教材のある楽曲の一部である。この楽譜の **ア** に当てはまる拍子を下のA群の1又は2から、**イ** と **エ** に当てはまる音符をB群の1又は2から、**ウ** に当てはまる旋律をC群の1又は2からそれぞれ選び答えよ。解答番号は**ア**が **24**、**イ**と**エ**が **25**、**ウ**が **26**。

The image shows two staves of music. The first staff starts with a box labeled 'ア' and ends with a box labeled 'イ'. The second staff starts with a box labeled 'ウ' and ends with a box labeled 'エ'. The music consists of eighth and quarter notes on a treble clef staff.

【A群】



【B群】



【C群】



6 次の問に答えよ。

[問] 次の文は、下の作品について説明したものである。この作品に用いられている技法の名称として適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は  。

凹凸があるものの上に紙を置き、紙の上から鉛筆等でこすり、凹凸の形を写し取った作品である。

掲載許可が  
得られてい  
ませんので、  
掲載いたし  
ません。

- 1 デカルコマニー
- 2 フロッタージュ
- 3 スパッターリング
- 4 コラーージュ
- 5 マーブリング
- 6 ドリッピング

**7**

次の問に答えよ。

[問] 次の**ア**～**エ**の食品と、その食品の説明A～Dとの組合せとして適切なものは、下の**1**～**8**のうちのどれか。ただし、数値は、「日本食品標準成分表2015年版（七訂）」（文部科学省平成27年）に示されたものとする。解答番号は **28**。

- ア** にしん（生）  
**イ** トマト（果実、生）  
**ウ** さつまいも（塊根、皮むき、生）  
**エ** えのきたけ（生）

- A 廃棄率が9%であるとともに、可食部100gあたりに含まれる食品成分として、炭水化物31.9g、たんぱく質1.2g、カリウム480mg、ビタミンC29mg等がある。  
 B 廃棄率が3%であるとともに、可食部100gあたりに含まれる食品成分として、ビタミンAのβ-カロテン当量540μg、ビタミンC15mg等がある。  
 C 廃棄率が15%であるとともに、可食部100gあたりに含まれる食品成分として、カリウム340mg、ビタミンB<sub>1</sub>0.24mg、ビタミンB<sub>2</sub>0.17mg、葉酸75μg等がある。  
 D 廃棄率が45%であるとともに、可食部100gあたりに含まれる食品成分として、たんぱく質17.4g、脂質15.1g、ビタミンD22.0μg等がある。

- |          |                     |                     |                     |                     |
|----------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| <b>1</b> | <b>ア</b> － <b>A</b> | <b>イ</b> － <b>C</b> | <b>ウ</b> － <b>D</b> | <b>エ</b> － <b>B</b> |
| <b>2</b> | <b>ア</b> － <b>A</b> | <b>イ</b> － <b>D</b> | <b>ウ</b> － <b>C</b> | <b>エ</b> － <b>B</b> |
| <b>3</b> | <b>ア</b> － <b>B</b> | <b>イ</b> － <b>A</b> | <b>ウ</b> － <b>C</b> | <b>エ</b> － <b>D</b> |
| <b>4</b> | <b>ア</b> － <b>B</b> | <b>イ</b> － <b>D</b> | <b>ウ</b> － <b>A</b> | <b>エ</b> － <b>C</b> |
| <b>5</b> | <b>ア</b> － <b>C</b> | <b>イ</b> － <b>A</b> | <b>ウ</b> － <b>B</b> | <b>エ</b> － <b>D</b> |
| <b>6</b> | <b>ア</b> － <b>C</b> | <b>イ</b> － <b>B</b> | <b>ウ</b> － <b>D</b> | <b>エ</b> － <b>A</b> |
| <b>7</b> | <b>ア</b> － <b>D</b> | <b>イ</b> － <b>B</b> | <b>ウ</b> － <b>A</b> | <b>エ</b> － <b>C</b> |
| <b>8</b> | <b>ア</b> － <b>D</b> | <b>イ</b> － <b>C</b> | <b>ウ</b> － <b>B</b> | <b>エ</b> － <b>A</b> |

8

次の問に答えよ。

[問] 「学校体育実技指導資料 第10集 器械運動指導の手引」(文部科学省 平成27年3月)の跳び箱運動の技の指導に関する記述ア・イと、跳び箱運動の技の名称A～Dとの組合せとして最も適切なものは、下の1～8のうちではどれか。解答番号は 29。

**ア** 助走から両足で踏み切って、跳び箱に手を着いて突き放し、膝を曲げて胸の方に引き寄せるように指導する。

**イ** 助走から両足で踏み切って、腰を高く引き上げ、しっかり手で支えて跳び箱に後頭部を着くように指導する。

- A 開脚跳び
- B かかえ込み跳び
- C 台上前転
- D 頭はね跳び

- |   |     |     |
|---|-----|-----|
| 1 | ア－A | イ－B |
| 2 | ア－A | イ－D |
| 3 | ア－B | イ－C |
| 4 | ア－B | イ－D |
| 5 | ア－C | イ－A |
| 6 | ア－C | イ－B |
| 7 | ア－D | イ－A |
| 8 | ア－D | イ－C |

9 次の問に答えよ。

[問] 次の英文で述べられている内容として最も適切なものは、下の1～4のうちではどれか。

解答番号は  。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

Adapted from Patrick St. Michel, *Vinyl's revival still strong*

(The Japan Times Alpha, August 10, 2018)

- 1 Vinyl records are less personal than MP3 files.
- 2 Vinyl records are enjoyed because of their convenience.
- 3 Young people buy not only older records but also new ones.
- 4 Recently, young people also buy MP3 files to hold in their hands.

## 特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述ア～エのうち、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(平成28年4月1日施行)に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

ア この法律は、障害者基本法の基本的な理念にのっとり、障害を理由とする差別の解消を推進し、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的としている。

イ 障害者とは、身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害がある者であって、その障害に起因する困難により、継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある者であり、社会的障壁を含まないものをいう。

ウ 行政機関等及び事業者は、社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、施設の構造の改善及び設備の整備に努めるよう規定されているが、職員に対する研修は規定されていない。

エ 行政機関等及び事業者は、その事務又は事業を行うに当たり、障害を理由として障害者でない者と不当な差別的取扱いをすることにより、障害者の権利利益を侵害してはならないとされている。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 学校教育における合理的配慮に関する記述ア～エのうち、「特別支援教育の在り方に関する特別委員会報告1」（中央教育審議会初等中等教育分科会 平成24年7月13日）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 合理的配慮とは、障害のある子供が、他の子供と平等に教育を受ける権利を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さないものである。

**イ** 障害のある子供に対する支援については、法令に基づき又は財政措置により、国、都道府県及び市町村は、教育環境の整備をそれぞれ行う。これらの合理的配慮の基礎となる「基礎的環境整備」を基に、学校の設置者及び学校は、各学校において、障害のある子供に対し、法令に基づいて一律の環境整備を行う。

**ウ** 合理的配慮は、一人一人の障害による困難を軽減するために提供されるものであるため、学校の設置者及び学校は、合理的配慮の観点を踏まえ、本人と保護者の意向を聞き取る前に、提供可能な合理的配慮を考えて提供することが求められ、その内容を個別の教育支援計画に明記する。

**エ** 合理的配慮は、その障害のある子供が十分な教育が受けられるために提供できているかという観点から評価することが重要であり、それについても研究していくことが重要である。例えば、個別の教育支援計画、個別の指導計画について、各学校において計画に基づき実行した結果を評価して定期的に見直すなど、PDCAサイクルを確立させていくことが重要である。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 特別支援教育に係る教育課程についての記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の 1～6 のうちではどれか。解答番号は 33。

**ア** 特別支援学級において特別の教育課程を編成する場合、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領に示す自立活動を取り入れることとする。

**イ** 特別支援学級においては、特に必要がある場合は、特別の教育課程を編成することができるため、指導する内容は、指導に当たる教員の裁量によって特別に決めて指導することができる。

**ウ** 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部の教育課程は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動によって編成する。

**エ** 特別支援学校の小学部において、知的障害者である児童を教育する場合、特に必要のあるときは、各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、特別活動及び自立活動の全部又は一部について、合わせて授業を行うことができる。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

**Ⅱ**

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の「総則」の「教育課程の編成」の「教育課程の編成における共通の事項」に関する記述ア～エのうち、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は  。

ア 道徳教育の内容は、小学部においては、小学校学習指導要領第 3 章「特別の教科道徳」に示す内容に準じる必要はない。

イ 各教科の指導に当たっては、学級経営計画の内容を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。

ウ 知的障害者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部における外国語活動については、児童や学校の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

エ 学年の内容を 2 学年まとめて示した教科及び外国語活動の内容は、2 学年間かけて指導する事項を示したものである。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

〔問 2〕 次の記述ア～エのうち、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の「総則」の「教育課程の実施と学習評価」の「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に示されているものとして適切なものには○を、適切でないものには×をそれぞれマークせよ。

解答番号はアが  、イが  、ウが  、エが  。

ア 各学校において必要な言語環境を整えるとともに、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、児童又は生徒の言語活動を充実すること。

イ 地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。

ウ 各教科等の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施できるよう工夫すること。

エ 各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること。

Ⅲ 次の事例を読み、下の各問に答えよ。

生徒Aは、知的障害特別支援学校中学部に在籍する自閉症のある生徒である。

生徒Aの様子

- ・ 聴覚から情報を捉えることは苦手であるものの、視覚からの情報を理解することが得意である。
- ・ 他者の様子に関心があり、進んでコミュニケーションを取ろうとする。
- ・ 気持ちが落ち着かなくなったときに、自らの行動を抑制することが難しく、他者に対して荒々しい行動に及んでしまうことがある。
- ・ 困ったことに直面したときに、他者に援助を求める方法が身に付いていない。
- ・ 険しい表情や口調で話してしまうことが多く、相手に動揺を与えてしまうことがある。
- ・ 感情などを言葉にして話すことが難しく、相手に意思が伝わらないことが多い。
- ・ 一方的に話してしまうことが多く、相手の話を聞くのが苦手なため、会話が成立しにくい。

(「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)(平成30年3月)」から作成)

[問 1] 下線部に関連して、自閉症のある児童・生徒の障害の特性を踏まえた指導に関する記述として**適切でないもの**は、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 他者との関わりをもとうとするが、その方法が十分に身に付いていない児童・生徒に対して、はじめから多くの教師と様々なやりとりを経験するようにする。
- 2 言葉でのコミュニケーションが困難な児童・生徒に対して、話し言葉を補うためにタブレット型端末等を活用して要求を伝えられるようにする。
- 3 音に過敏に反応する児童・生徒に対して、苦手な音がして落ち着かなくなりそうなときにイヤーマフを自分で着用して音量を調節できるようにする。
- 4 身体を前後に動かして自己刺激を過剰に得ようとしている児童・生徒に対して、ブランコ遊びなどの他の適切な活動に置き換えて、同じような感覚を得られるようにする。

〔問 2〕 次の記述**ア**～**エ**のうち、自閉症のある児童・生徒の障害の特性や「生徒Aの様子」を踏まえた生徒Aへの指導として正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

**ア** 他者に対して荒々しい行動をしてしまったときに、落ち着くことのできる小部屋を用意し、慣れた別の活動に取り組み、気持ちを落ち着かせるようにする。

**イ** 相手の立場に合わせた言葉遣いや場に応じた声の大きさなどを、実際の生活場面とは切り離し、プリントを使って指導を行う。

**ウ** 絵カードを使って表情から相手の意図を推測する学習を行い、周囲の状況や他者の感情に配慮した伝え方ができるようにする。

**エ** 「もうちょっと優しい言い方なら大丈夫だよ」と、意味内容に幅のある表現を用いて状況に応じた話し方を口頭で伝える。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 「生徒Aの様子」を踏まえ、個別指導計画の自立活動の目標を「一方的に話すことを調整しながら、伝えたいことを整理して話す」と設定した。この目標を達成するための具体的な指導内容として、次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

ア 相手に伝えなければならない事柄を、いつ、どこで、どうしたいかなどの項目を示した資料を見ながら順番に話す機会を設定する。

イ 予定されているスケジュールや予想される事態や状況を伝えたり、事前に体験できる機会を設定したりすることで見通しをもてるようにする。

ウ 日常の会話の様子を動画で撮影し、省みるようにすることで、相手の話を聞きながら話したり、穏やかな口調や表情で相手に接したりするよう意識させる。

エ 話し言葉ではなく、メモ帳やタブレット型端末等を活用して、文字のみで自分の話したいことを相手に伝えるようにする。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

IV 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述ア～エは、視覚障害者である児童・生徒の視覚障害の状態に関するものである。正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～6のうちのどれか。解答番号は  。

- ア 視覚障害とは、視機能の永続的な低下により、学習や生活に支障がある状態をいう。片眼だけ視機能の低下がみられる場合も、遠近感覚がないなどの不自由があるため、視覚障害である。
- イ 視力測定はランドルト環を視標とした万国式試視力表を用いる。0.1の視標が5 mの距離から正解できない場合は、それよりも近い距離で測定する。例えば、1 mの距離で0.1の視標が正解できた場合の視力は、0.02である。
- ウ 最小可読視標とは、遠見視力表を用い、一番見やすい距離まで目を近づけてどこまで視標を読み取ることができるかで表す。例えば、「最小可読視標：0.3/5 cm」は、5 cmまで近づければ、0.3の視標が読み取れることである。
- エ 0.01より低い視力は数値で表せないが、明暗も分からない状態を「光覚なし」、明るい暗いかが分かる状態を「光覚（弁）」、眼前で動かした手の動きが分かる状態を「手動（弁）」、眼前の指の数が分かる状態を「指数（弁）」という。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 聴覚障害者である児童・生徒に対する指導上の配慮事項に関する記述ア～エのうち、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月）に照らして正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

ア 言葉の意味を理解したり、それによつて的確な言語概念を形成したり、その指導の過程において言語による思考力を高めたりするためには、具体的経験をいかに言葉で表現し理解できるようにするかが極めて大切なことである。

イ 読書の指導に当たっては、児童・生徒がどのような読み方をしているか、果たして読んでいる内容が理解されているかなどの観点から質問などをすることは、児童・生徒の意欲をそぐことになるため、避けなければならない。

ウ 各教科の指導においては、話し合い活動を中心に授業が展開され、そのことを通して、学習内容の理解が図られることから、意思の相互伝達が円滑かつ的確に行われ、それが全体として一層活発化されることが特に望まれる。

エ 児童・生徒が「分かる」ことに支えられて、主体的に学習が進められるよう発展的・応用的な事項に重点を置いたり、興味・関心のある事項を優先的に取り上げたりするなど、工夫して指導するよう努めることが大切である。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 3] 肢体不自由特別支援学校における自立活動の指導に関する記述として最も適切なものは、次の1～5のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 自立活動の指導を行うためには、特別支援学校自立活動教諭の教員免許状を所有していることが必要である。
- 2 学級担任の教員は、自立活動の指導は自立活動の担当者に全てを任せて、教科等の指導に専念すればよい。
- 3 自立活動の指導は、自立活動の時間を設けてその時間だけ行えばよく、教科等の指導では自立活動の指導を行う必要はない。
- 4 自立活動の指導は、指導目標を数値化してその達成状況に応じて観点別評価を行い、数値による評定を行う。
- 5 障害の状態により、必要に応じて専門の医師やその他の専門家の指導・助言を求めて適切な指導を行う。

[問 4] 次の記述ア～エのうち、知的障害者である児童・生徒の学習上の特性を踏まえた指導に関するものとして適切なものには○を、適切でないものには⊖をそれぞれマークせよ。解答番号はアが  、イが  、ウが  、エが  。

- ア 自発的な活動を大切にし、主体的な活動を促すようにしながら、課題を解決しようとする思考力、判断力、表現力等を育むよう指導する。
- イ 一人一人の児童・生徒の知的障害の状態や経験、興味・関心などを踏まえるとともに、可能な限り実際の場面に即した状況で指導する。
- ウ 将来の社会参加と自立のため、補助具等の学習環境は、発達の段階よりも生活年齢に即して設定し、自力で取り組む力につながるよう指導する。
- エ 学校で学習した内容が、家庭生活を含む日常生活の様々な場面で、学習した内容の深化や、生活の向上につながるよう指導する。

[問 5] 病弱者である児童・生徒に対する指導に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は  。

- 1 糖尿病の児童・生徒は、医療機関が主体となり、徹底した健康管理を行うため、学校では、児童・生徒が病状を気にしないように全ての活動に参加させる必要がある。
- 2 白血病の児童・生徒は、治療計画によっては、入院と退院を繰り返すことがあるので、退院時にはすぐに学校に登校し、指導が再開できるようにする必要がある。
- 3 心身症の児童・生徒は、心理的に緊張しやすく、不安になりやすい傾向があるが、病気の原因を把握しつつ、様々な集団に積極的に参加させる必要がある。
- 4 心臓疾患の児童・生徒は、運動制限の範囲を超えて身体を動かして、病状が悪化することがあるので、病状や体調に応じて生活を自己管理できるようにする必要がある。

31 (32採用) 【特別支援学校 小学部】

問題番号			解答番号	正答1	正答2	正答3	配点	備考
大問番号	小問番号							
1	1	1	1	2			4	
		2	2	1			4	
	2	1	3	1			3	
		2	4	3			3	
2	1		5	7			2	
			6	4			2	
			7	1			2	
	2		8	2			2	
3	1		9	1			2	完全解答
			10	2				完全解答
			11	1				完全解答
			12	1			2	完全解答
			13	6				完全解答
			14	9				完全解答
			15	4			3	
	2	1	16	4	6		3	順不同
			17	6	4			順不同
		2	18	0			2	
		3	19	6			2	
4	1		20	2			2	
	2		21	6			2	
			22	2			2	
			23	3			2	
5		ア	24	2			1	
		イエ	25	1			1	
		ウ	26	1			1	
6			27	2			3	
7			28	7			3	
8			29	3			3	
9			30	3			4	
I	1		31	3			3	
	2		32	3			3	
	3		33	3			3	
II	1		34	6			3	
	2	ア	35	-			1	
		イ	36	1			1	
		ウ	37	1			1	
		エ	38	1			1	
III	1		39	1			3	
	2		40	2			3	
	3		41	2			3	
IV	1		42	5			3	
	2		43	2			3	
	3		44	5			3	
	4	ア	45	1			1	
		イ	46	1			1	
		ウ	47	-			1	
		エ	48	1			1	
	5		49	4			2	